

◎ 評価対象分野・施策の方針

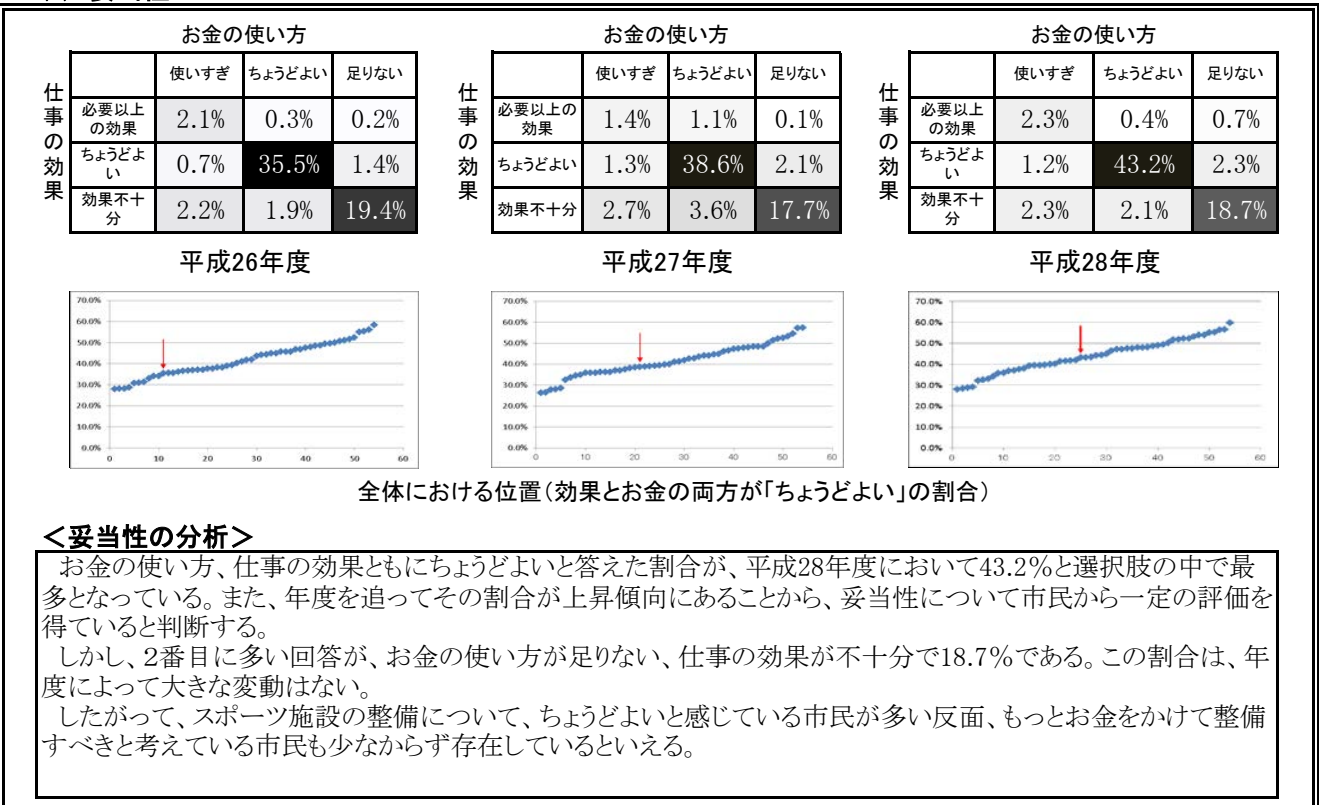
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ施設の整備
------------	----	---------------	-------	-----------

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	30.1%	平成27年度	25.3%	平成28年度	21.8%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成28年度	26.1%	42.8%	3.9%	27.2%	100.0%
平成27年度	25.5%	38.9%	4.9%	30.8%	100.0%
平成26年度	22.1%	37.2%	4.8%	35.8%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成28年度の目標

- ① 本市のスポーツ施設の設置数は、同規模の地方公共団体と比較すると不足しており、十分な規模を有するスポーツ施設がないため、鎌倉市公共施設再編計画の策定に合わせスポーツ施設整備の検討を進めるとともに山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備の検討を進める。(市民-34)
- ② 深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向けて引き続き関係課等と協議・調整を進める。(市民-34)

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
整理番号	事業名	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	事業内容	予算規模
市民-34	体育施設整備事業	275	3,095	1,045	10,710	0.1	1.0	b	B

(3) 主な実施内容

【主な実施内容】

- ① 鎌倉市公共施設再編計画では、鎌倉体育館及び大船体育館を統合し、屋内プールを併設した総合体育館として、深沢地域整備事業用地へ移転することが示されたため、②の検討により進める。
- ② 深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向けては、(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会を設置し、スポーツ関係団体等から新施設建設に向けた意見聴取を始めた。
- また、スポーツ施設を建設するため、ふるさと寄附金及び一般からの寄附金をスポーツ施設建設基金に積み立て、運用を行った。

【実施できなかった事業とその理由等】

- ① 山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備は、山崎ごみ処理施設建設の進捗状況を踏まえ、環境部及び都市整備部と連携し、引き続き検討を行っていく。

(4) 平成28年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	☒ 適切	☐ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	☐ 適切	☒ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	☐ 適切	☒ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	☒ 適切	☐ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

スポーツ施設の整備における妥当性及び有効性について他市の先進事例の調査や過去に検討した施設整備内容の精査等が必要であると考えている。また、山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備の検討には、スポーツ関係団体や市民の意見を聞くことも重要であることから、検討委員会を設置し検討していきたい。

3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

総合体育館とグラウンド整備については、平成29年2月にスポーツ関係団体等からなる(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会を設置し、スポーツ関係団体等から意見を聞きながら整備基本方針及び基本計画の素案を平成29年度中を目途に作成しているところである。素案がまとまり次第、スポーツ推進審議会への諮問、パブリックコメントを経て、答申を得た後、早期に行政計画として策定していきたい。

競技スポーツの推進を図るため、公式競技の開催が可能な施設の整備の実現に努めるとともに、整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等について検討する。

民間施設の借用・県や他市町との広域利用も含め、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境を整備する。

4 平成29年度の目標

- ① 山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備については、引き続き環境部及び都市整備部と連携を図っていく。
- ② 深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向けては、(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会において意見を聞きながら、整備基本方針及び基本計画の素案を作成する。

5 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	市民-34	事業名	体育施設整備事業					単位	円	指標の傾向	備考
指標の内容	スポーツ建設基金寄附積立金										
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
スポーツ施設整備に必要なため	目標値	100,000	100,000	1,754,000	1,754,000						
	実績値	3,051	269,236	1,736,690							
	達成率	3.1%	269.2%	99.0%							

鎌倉市民評価委員会からの指摘

課題

- ・鎌倉市民の傾向として、鎌倉市内では具体的にどのような施設が足りていないのか、それゆえどのような検討が必要なのか議論を深めることが求められる。
- ・具体的な取組の方向が見えてこない。特に整備の遅れに対する要因が見えてこない。計画実現に向けたシナリオと時期を明確にしていくことが求められる。民間のノウハウも生かした幅広い施設運営を検討とあるが、具体的な方策が不明である。
- ・山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備の検討には、スポーツ関係団体や市民の意見を聞くことも求められる。
- ・公式競技の開催が可能な施設の整備の実現に努めるとあるが、実現の可能性が明らかになっていない。
- ・スポーツ施設利用者の公平性の確保が求められる。
- ・子育て中の母親はスポーツ施設より気楽に遊べる広場を欲しがっており、そのニーズ把握が求められる。
- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、また、現在の健康志向を考えると、市内の施設の配備・整備はまだ足りていない。
- ・市民のスポーツ熱を上げるような取組はないものか。高齢化に伴った対応も急務である。方向性が出ているが、実際には変わっていない印象である。



指摘への対応、コメント等

- 平成28年度にスポーツ関連団体等からなる(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド整備検討委員会を設置したので、今後、意見を聴取していく。
- 整備時期については、深沢地域整備事業の進捗状況と関連するので、関係課等と連携をとりながら進めていく。民間のノウハウを生かした施設運営は、PFIや指定管理などの手法を想定している。
- 山崎浄化センター西側建物の上部利用のスポーツ施設整備については、近隣住民の理解を得られていない状況であるが、整備する状況になれば、スポーツ関係団体や市民・地元住民の意見を聴きながら進めていく。
- 公式競技の開催が可能なスポーツ施設の整備については、鎌倉市公共施設再編計画や深沢地域整備事業との整合をとりながら、深沢地域整備事業用地に整備していく予定である。
- スポーツ施設の利用予約については、鎌倉市公共施設利用予約システムを活用し、毎月1回の抽選などにより、より多くの市民が公平に利用できるよう運用している。
- 新たなスポーツ施設整備にあたっては、健康づくりの視点をもって取り組んでいく。
- 新たなスポーツ施設の整備にあたっては、高齢者を含め、あらゆる市民が利用しやすい施設、かつ参加しやすいプログラムを提供できるよう検討していく。

提言

- ・整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等についての検討、民間活力の有効活用方策も検討すべきである。
- ・公共施設の再編に当たっては、各施設のステークホルダーの力関係による再編にならないよう、様々なニーズや将来性を踏まえて実施すべきである。
- ・他の市区町村に比して、山と海に囲まれ、一般的なスポーツに利用できる土地が少ない鎌倉市においては、その独自の環境を活かしたスポーツの振興を図るべきである。
- ・平成28年度の「新スポーツ施設基本設計立案」にあたっては既存の発想にとらわれない視点をもって取り組むべきである。



提言に関するコメント等(総論)

- 鎌倉市公共施設再編計画及び深沢地域整備事業等との整合性を図りつつ、既存の施設にとらわれないことなく、将来にわたり市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興に資する施設を整備していく。

鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

- ・（仮称）鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会を設置し、スポーツ関係団体等から新施設建設に向けた意見聴取を始めたこと。
- ・山崎浄化センター西側建物の上部利用による検討及び基本設計を行うとともに、深沢地域整備事業における総合体育館及びグラウンドの整備に向けて検討を進めている。
- ・過去経緯や民間や他の行政機関の取組みなど、多角的に分析し、効率性や有効性など多くの視点を加味して事業を推進している。

評価の内訳						⇒	委員会の評価
取組	↗	3	↘	0	→	5	↗
効果	○	2	△	0	—	6	—

《課題》

- ・深沢地域整備事業における体育館の建設は評価できるが、それに伴い2つの体育館が閉館となるリスク対応及び早期実現が課題である。鎌倉駅が最寄りの市民の屋内スポーツ施設利用の代替案をあわせて検討願いたい。
- ・山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備は、早急に行うとともに、検討にあたっては、スポーツ関係団体や市民の意見を聞くことも重要である。
- ・市民ニーズの高い施設とは何か。健康志向が高まっている現在、スポーツ施設より運動施設の充実を望んでいる。時代に合った施設の整備に取り組むことが重要である。
- ・民間のノウハウも生かした幅広い施設運営を検討とあるが、具体的な方策が不明である。
- ・整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等について検討、民間活力の有効活用方策の検討が必要である。

《提言》

- ・「スポーツ建設基金寄附積立金」が唯一の指標となっているが別指標も設定すべき。
- ・「新総合スポーツ施設」の早期実現を期待する。